

# 第57回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 30 年 11 月 16 日（金）18:50 ~ 20:45

場 所：KKR ホテル博多 2 階 シリウス

〒810-0022 福岡市中央区薬院 4-21-1 ※次頁の地図をご覧下さい

参加費：1,000 円 募集定員：100 名 Field<sup>\*</sup>：A(排尿管理)、C(感染対策)

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはすし・認知症・介護・保険他）  
詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

## テーマ：感染対策、糖尿病と排尿障害

● 製品紹介「過活動膀胱治療薬ステーブラ OD 0.1mg」 小野薬品工業株式会社

開会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：関成人 先生（九州中央病院泌尿器科 部長）

### 講演：『療養病床における排泄ケアと感染対策』

講師：北川千幸 先生（医療法人相生会 金隈病院 看護部  
副看護師長 [感染管理認定看護師]）

～講師からのコメント～

排泄は日常的な行為の一つであり、療養病床の患者さんのほとんどが何かしらの排泄援助を必要としており、トイレ、オムツ、カテーテル留置など方法は様々です。また、看護職員、介護職員が協働してケアをおこなっており、感染に対する知識も様々です。そのような環境の中でどのように感染対策を行っていくのか、事例を通して紹介していきます。

### 講演：『糖尿病でも活用しよう！排尿に関する問診の重要性

内科の立場から』

講師：古川慎哉 先生

（愛媛大学大学院医学系研究科 痘学・予防医学講座 准教授）

～講師からのコメント～

糖尿病ではさまざまな排尿障害が合併することが多いことが知られています。糖尿病では夜間排尿回数が睡眠障害、うつ病、大血管障害、細小血管障害などさまざまな病気と関連していることが明らかになってきました。糖尿病専門医の立場から夜間排尿回数や尿意切迫感の問診の重要性を話したいと思います。

閉会の挨拶：今丸満美 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、小野薬品工業株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

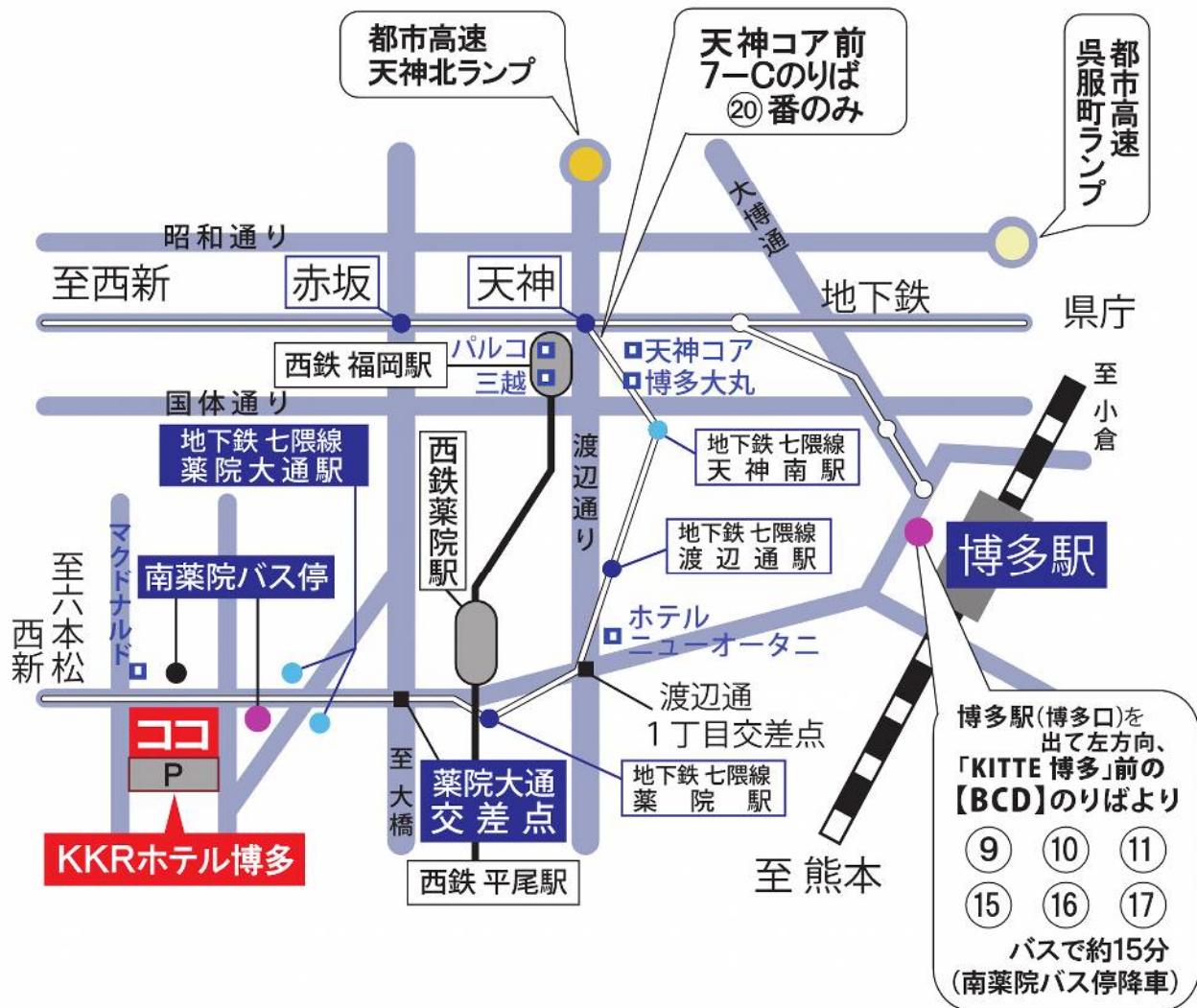
NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812

メールアドレス：info@fukuokahaisetsu-net.org



## KKRホテル博多 ご案内図



■**博多駅【西鉄バス】** ● 博多駅(博多口)を出て左方向、「KITTE博多」前の【BCDのりば】より 9・10・11・15・16・17 のバスで約 15 分、【南薬院バス停】降車スグ

■**地下鉄 天神南駅【地下鉄七隈線】** ● 地下鉄七隈線【薬院大通駅】下車 1番出口を出て徒歩 5 分

■**車でのアクセス** ● 都市高速【天神北】ランプ下車、渡辺通りを直進、【渡辺通り一丁目】交差点から右折 5 分

■**空港** ● 福岡空港から地下鉄ご利用【博多駅】まで約 5 分  
● 福岡空港からタクシーご利用 25 分